

参考資料

立命館のSGU×SGUの取り組み

立命館SDGsの取り組み



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献する。

私たちは、この立命館憲章の理念をもとに、
SDGsの達成に向けて、立命館らしい挑戦を続ける。

私たちは、世界と日本が直面する課題を解決するために、
多様な個人や組織をつなぎ、新たな「知」の創造とそれを担う「人材」を育成する。

そして、2030年、さらにその先のより良い未来社会の実現に貢献する。

立命館SDGsウェブサイト

<http://www.ritsumei.ac.jp/sdgs/>



高齢期を安心して過ごすための
お金の知識の啓蒙と普及

土曜講座－高齢期のお金と法律－

金融ジェロントロジー／金融・法教育研究センター



大学内外を問わない活動によって
フェアトレードを普及させる

タイとつながるとりの笛プロジェクト

フェアトレード団体 beleaf



国際貢献をきっかけにして
食生活改善に関心をもってもらう

ヘルシー・ムスリムなど多様なニーズに答える提案

Table For Two APU 支部



～子どもたちの安全な暮らしを実現するために～
立命館大学司法面接研修

立命館大学司法面接研修スタート

立命館大学司法面接研修



スポーツの体験を通じてSDGsの普及と発展を

エキスポーツ2019 くさつ・しがSDGs交流大会

立命館大学Sustainable Week実行委員会
COIアクティブ・フォー・オール拠点 (立命館大学・順天堂大学)



地域の健康・福祉課題に取り組む

滋賀県の長寿の秘訣を研究する

地域健康社会学研究センター



後遺症からの機能回復の可能性を探る

脳の再組織化システムの研究開発

生存学研究所



大学と地域の交流イベント
～立命館がいばらきの街を元気にする～

いばらき×立命館DAY
～大学主催の地域交流イベント～

OIC 地域連携課



誰もが無意識的に運動し、
健康でいられる未来を大学から創り出す

大学の研究と社会を連動させる中心に

COIアクティブ・フォー・オール拠点 (立命館大・順天堂大)



そのSDGsに魂はあるか？
「マイプロジェクト」からはじめる「自分ごと」

立命館大学教養ゼミナール
「SDGs表現論 -次世代リーダーの育成-」

立命館大学教養ゼミナール



中東・イスラームに関する確かな理解の促進

中東・イスラーム研究センターによる
研究活動のスタート

立命館大学中東・イスラーム研究センター



立命館の「学び」をご家族へ

立命館アカデミックデイin東京

立命館東京キャンパス



地域社会における地域活動への参加

地域参加学習入門

立命館大学教育学部共通教育課



質の高い中国語講座の提供

初級から上級までの各レベルに対応した
中国語講座の提供

立命館孔子学院教務プロジェクト



大学が地域の国際交流拠点になる
～立命館が地域の国際化を推進～

Asia Week ～大学と地域の国際交流イベント～

OIC 地域連携課



本がつむいだ人の縁で、
さらに地域を活性化させる。

まちライブラリー@OIC

まちライブラリー@OIC



APUの国際学生と共に、
混ざり、学び、新たな視点を共有する

APU×SDGs Innovation Challenge

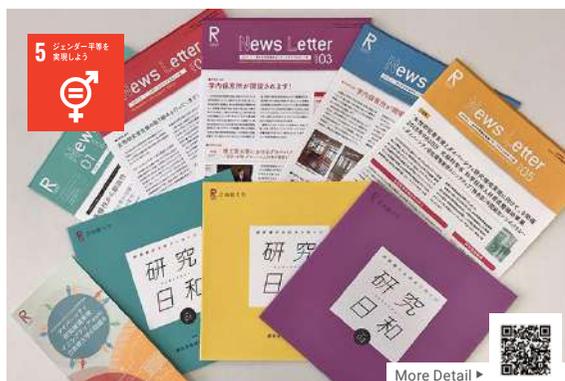
立命館守山中学校・高等学校



LGBTおよび性的少数者をめぐる
社会的ダイバーシティの実現

LGBTの家族形成支援システムの構築

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業



女性研究者の活躍、推進を目指す。

女性研究者の活躍、推進に向けた手立てを

リサーチライフサポート室



フィールドで学ぶアジアの持続可能性

海外スタディ マレーシア工科大学
「マレーシアで学ぶアジアの環境と開発」

BKC 国際課



社会の要望に応え
さらに新たな社会問題を解決できるビジネスを創造

街づくりから水質浄化そして持続的な養殖へ

株式会社ウイルステージ



サステナブルキャンパスに関する取り組み評価

サステナブルキャンパス評価システムにて
立命館大学がゴールド認証を取得

立命館地球環境委員会



エネルギーの視点から
現代社会の様々な課題を解決できるヒトを育てる

持続可能なエネルギー政策とは

立命館宇治中学校・高等学校



通常の校友会とは違う
学生と関わる校友会事業を提供していく

世界に羽ばたく校友と学生をつなぐ架け橋に

Loop.A.S (校友会学生実行委員会)



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

SDGsの理解を深めるため
Minecraftを使った持続可能な都市の想像

生徒と共に考える都市とSDGsの授業

立命館小学校



韓国・台湾の学生とアジアの平和な未来について
共に考える留学プログラム

Asian Community Leadership Seminar

国際教育推進機構 / 衣笠国際課



日中相互理解を目指す中国文化交流企画

中国の文化を紹介し日中の交流を図る

中国文化交流プロジェクト



10 人や国の不平等をなくそう

生徒主体でSDGsにフィーチャーし
自分から新たな価値や社会を考える

Rits Super Global Forum RSGF

立命館中学校・高等学校



地域をフィールドに学生主体で
SDGsに取り組む滋賀県甲賀市との連携事業

SDGs地域共創型プロジェクト
「甲賀でつながる30日」

TaBiwa+R



『文化遺産と地域防災』による
開発途上国人材の育成

ユネスコ・チェア国際研修
『文化遺産と危機管理』

立命館大学歴史都市防災研究所



新しいものを作り出す共通点を元に
持続可能な社会を創るイノベーターを育成

持続可能性と繋がりに生み出すイノベーション

立命館大学 EDGE+R



ごみの分別のイニシアティブ人材の育成

定期的なごみの分別学習会の開催

衣笠キャンパス地域連携課・立命館ぶらす



地震による建築物の倒壊から生命を守る

学生・教職員が使用している建物全てが耐震化完了

財務部管財課



衣笠キャンパスにおいて
地域と連携して取り組むSDGs

キャンパスの落ち葉の腐葉土化とその活用

腐葉土プロジェクト・きぬがさ農園プロジェクト



地方都市の魅力発見と発信

甲賀食の観光サイト運営プロジェクト

とりあえず i(い)甲賀プロジェクト



建築を通してできることから加子母の発展を目指す

建築を通じて私たちにできることを考える

Design Factory



文化遺産を未来に受け継ぐ
地域社会の担い手を育む

みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト

立命館大学歴史都市防災研究所



衣笠キャンパスにおいて
地域と連携して取り組むSDGs

絶滅寸前種フジバカマ（原種）の受け入れ

衣笠キャンパスフジバカマプロジェクト



気候変動への適応や脱炭素社会の構築を
技術と政策を融合した様々な活動で取り組む

サステイナブル価値の創造と定着を目指して

サステイナビリティ学研究中心（RCS）



プラスチックストローから
紙ストローへの転換の実現可能性を探る

人々は紙ストローにいくら支払えるのか？

経済学部寺脇拓ゼミ



自身が活動する海に対する意識を
自分たちの活動を通じて考える

毎年実施企画越前クリーンアップ

Dive In Blue



コミュニティ共創プロジェクト
「育てる里山プロジェクト」

育てる里山プロジェクト

育てる里山プロジェクト



立命館大学開発の土壌肥沃度指数 SOFIXを用いた
定量的で再現性のある有機農法の実現

技術と知見からわかる地域バイオマスの発掘

SOFIX 農業推進機構



安土景清道整備活動

中世の貴重な史跡を守る！

IVUSA 京都 BKC 支部



人と人のつながりを育みながら
緑豊かで心地よい空間を創造する

ガーデニングプロジェクト

ガーデニング トレフル



「上野誠版画展」を通して
SDGsゴール実現を目指す

2019年度秋季特別展 上野誠版画展
— 『原爆の長崎』への道程 —

国際平和ミュージアム



立命館大学国際平和ミュージアム
展示を通してSDGsゴール実現を目指す

立命館大学国際平和ミュージアム
常設展

国際平和ミュージアム



現場に赴き、国連を理解し、SDGsを理解する。

海外スタディ ペース大学
「ニューヨークで学ぶ国際連合」

BKC 国際課



中国を体感する中国の大学への短期研修

夏期、春期における
中国の大学への短期研修プログラム

中国の大学への短期研修プログラム



世界報道写真展を通して
SDGsゴール実現を目指す

世界報道写真展2019
—WORLD PRESS PHOTO 19—

国際平和ミュージアム



”オールBKC”で地域課題の解決を目指す

地域と共に発展する
キャンパスの実現を目指し取組を発信

立命館大学 BKC 地域連携室



より良い社会の創造」を目指す
「MIRAI CHALLENGE PROJECT」

ギネスワールドレコーズジャパンと連携した
「MIRAI CHALLENGE PROJECT」を開始

立命館 SDGs 推進本部



SDGsから社会を観る

基礎演習 (1回生少人数クラス) における
SDGsを通じた学び

立命館大学スポーツ健康科学部 基礎演習団体



立命館大学、関西、日本の大学での
学生によるSDGsの活動をリードしていく

日本初・学生主催のSDGs体験型イベント
Sustainable Week

立命館大学 Sustainable Week 実行委員会

RIMIX の取り組み

- 新たな人材育成の枠組みとして企業と連携した初等・中等教育段階からの**社会起業家養成支援 (Impact-Makers)**
- 学生・生徒・児童の問題意識とチャレンジ精神を起点に、挑戦から起業までを支援。社会課題を積極的に解決する人材の養成を目指す。



立命館・社会起業家支援プラットフォーム

RITSUMEIKAN Impact-Makers

社会にインパクトを与える人

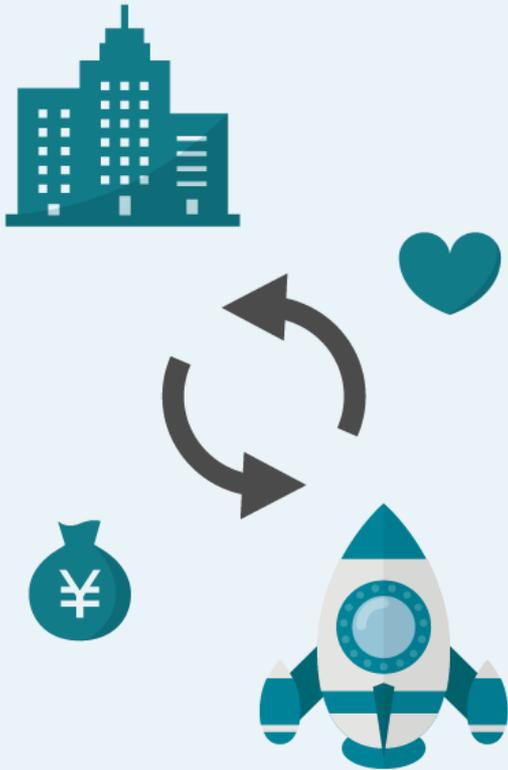
Inter X(cross) Platform

立命館内外の異種交流

2019年9月開始

RIMIXに至る背景

スタートアップをめぐる
政策や環境の変化



立命館学園における
多様な起業家プログラム



社会課題に取り組む
校友の起業家



スタートアップの現状

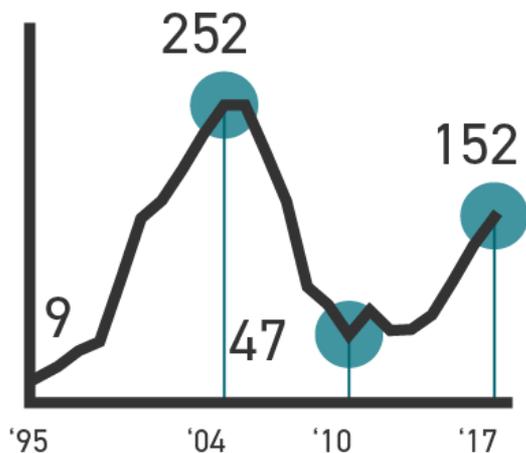
上場した
大学発ベンチャー

時価総額合計

2
兆円

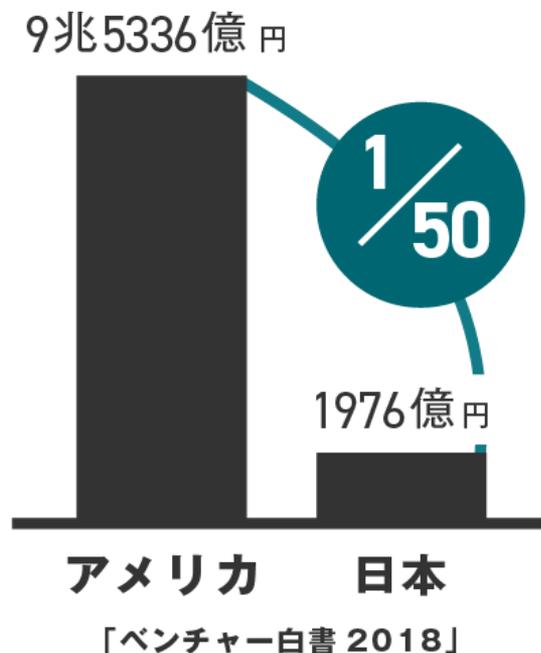
文部科学省及び科学技術振興機構

大学発ベンチャー
設立数



文部科学省「産学連携等実施状況調査」

ベンチャー投資金額



「ベンチャー白書 2018」

RIMIXの目標

学園 Vision “挑戦をもっと自由に” の実現



RIMIXのプログラム



Chance

自身にとっての社会課題を発掘し、問題意識を高める

Beyond COVID-19
SDGs表現論
インパクトゼミ
SDGsイベントなど



Challenger-ship

一人ひとりの社会課題解決アイデアを形作り、ビジネスマインドを育成

SSAP
EDGE + R
RIMIX U-18
READYFOR Challenge助成金



Entrepreneur-ship

アイデアをプロジェクトとしてブラッシュアップし、発信し、評価を得る

総長ピッチチャレンジ
ベンチャーコンテスト
附属校ピッチ



Entrepreneur

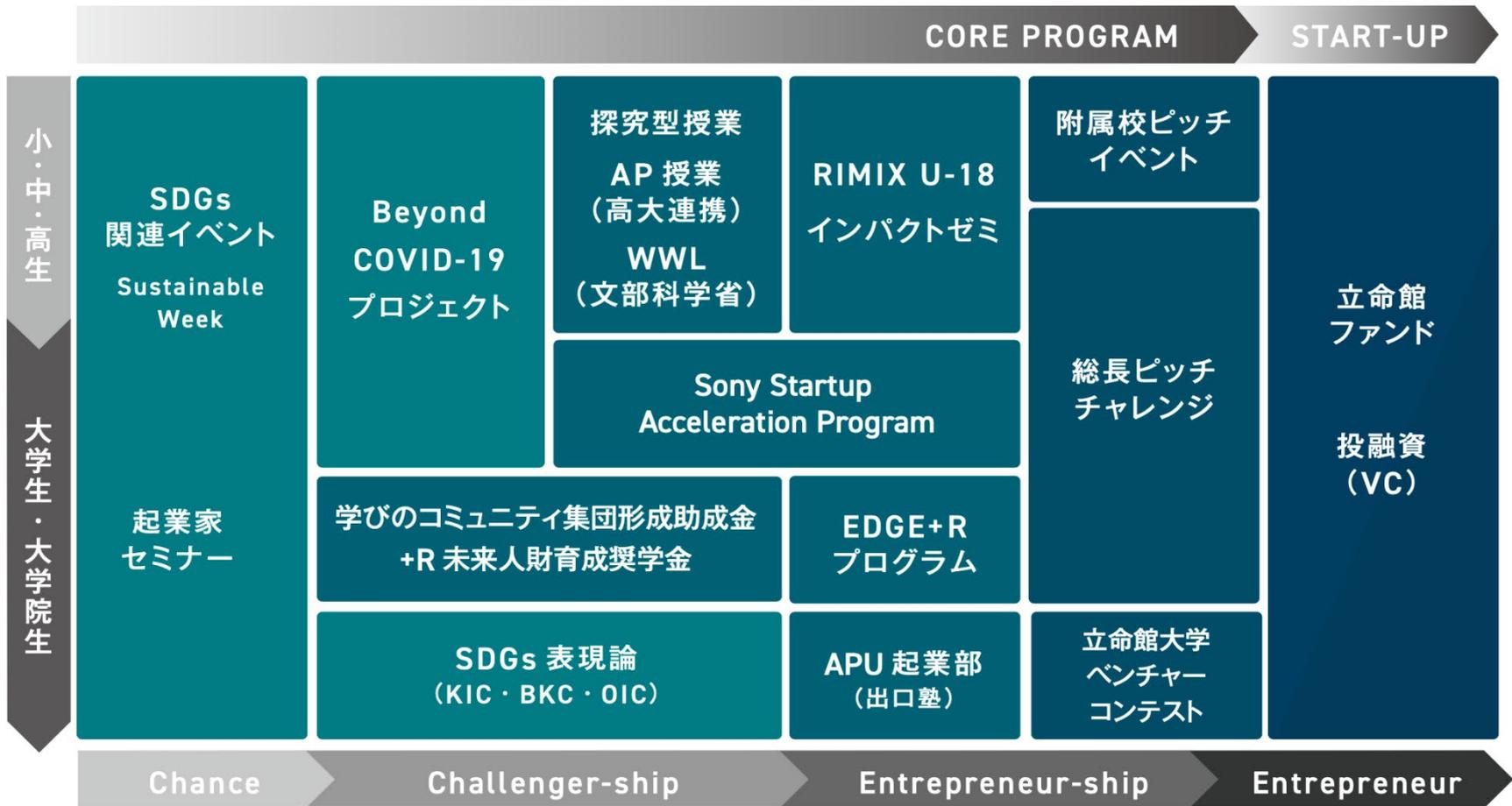
本気で起業を目指す層への支援を行い、社会的インパクトを生み出す

立命館ソーシャル
インパクトファンド
投融資 (VC)

RIMIXでは、立命館学園で行われている様々な学生の挑戦を1つのプラットフォームとして見える化し、学生・生徒・児童の挑戦の機会を提供します。

それぞれのプログラムの有機的なつながりをつくり、課題発見から起業までシームレスに支援します。

RIMIXのプログラム体系



立命館大学・EDGE+Rプログラム

文部科学省次世代アントレプレナー育成事業

イノベーション・アーキテクト養成プログラム



立命館アジア太平洋大学・APU起業部（通称：出口塾）

将来本気で起業したい学生を学長自らが支援

国内外で活躍する起業家を育成する実践型課外プログラム



立命館守山中学校・高等学校・インパクトゼミ

起業家を講師にイノベーションを学び・実践する機会の提供

文理・学年・授業の枠を越えたユニークな部活動



立命館大学・自主的な学びの支援

課外での成長を支援する奨学金・助成金

+ R 校友会未来人財育成奨学金 / 学びのコミュニティ集団形成助成金



総長ピッチチャレンジ

課外活動から起業への後押し

立命館学園の学生・生徒・児童に挑戦する機会を提供



目的 プランを起業まで育てる

- ・プランのブラッシュアップを行う
- ・学園内の潜在的な起業家の発掘と交流

内容 Sony Startup Acceleration Program + 総長ピッチ

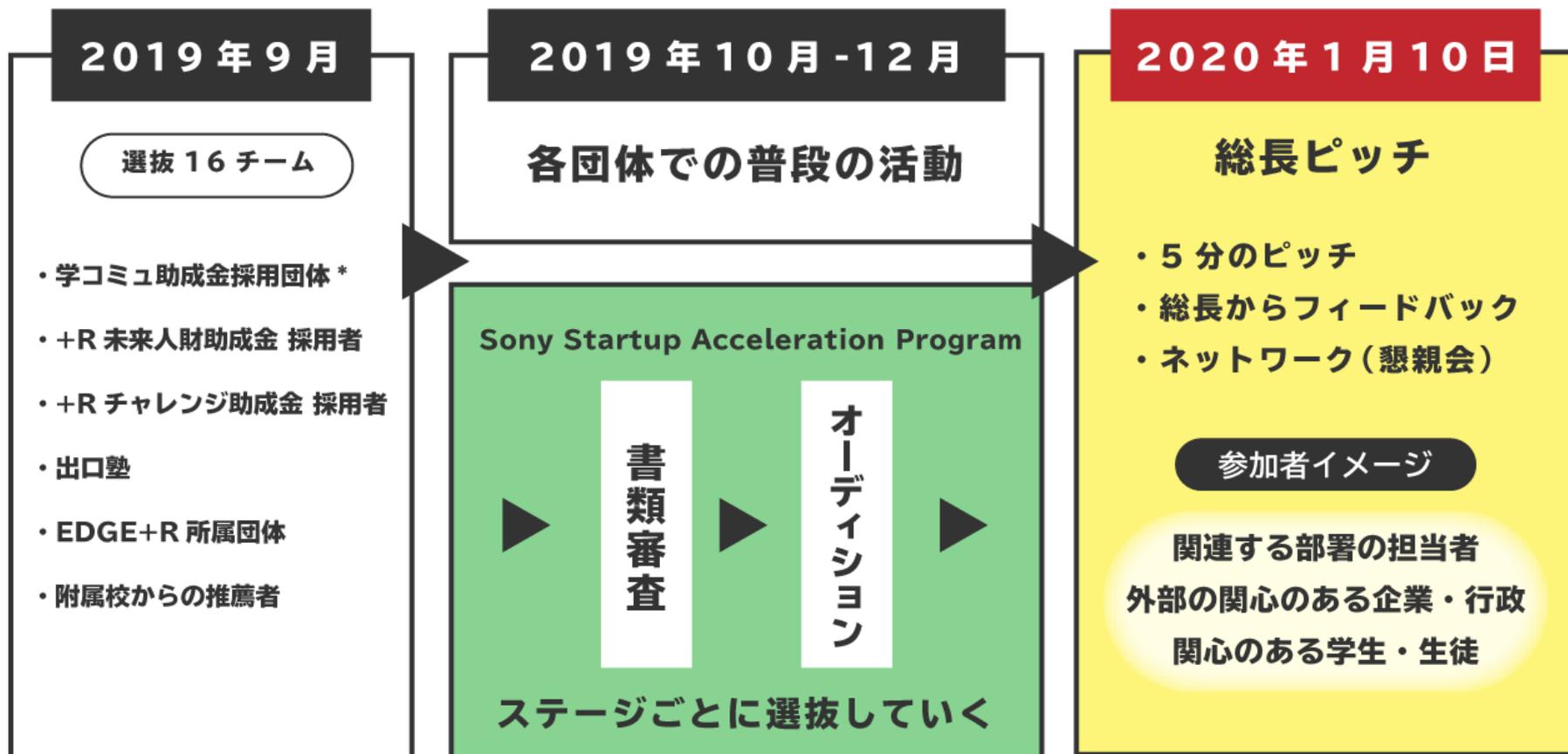
対象 約 50 名の参加

- 立命館大学 11 チーム
- 立命館アジア太平洋大学 3 チーム
- 立命館宇治高校 1 チーム
- 立命館守山高校 1 チーム

総長ピッチチャレンジ

課外活動から起業への後押し

約 2 ヶ月間のプログラムを経て、総長へピッチ



* 学びのコミュニティ集団形成助成金

※2019年度はトライアル実施、2020年度はさらに充実予定

総長PITCH THE FINAL

< 総長賞 >



○ HHART 「生活充実度の向上を目指した聴覚障害者むけスポーツ補助デバイスの開発」

< Sony Startup Acceleration Program賞 >



- Trash Kitchen：フードロスを解消するためのレストランとコミュニティ作り」
- Beppu Muslim Welfare：地方・地域でのインバウンド効果持続のためのムスリムフレンドリーな街づくり」

○Sony Startup Acceleration Program チャレンジ賞

オークン：「学びへのアクセスが困難な途上国の人材につき教育から採用まで行うオンライン講座システム」

○チャレンジオーディエンス賞

one's 1 Fair Trade：「フェアトレードで発展途上国の可能性と消費者をつなぐ」



Learn more about the Top Global Universities at the official website.

スーパーグローバル大学創成支援事業公式サイトでは、採択大学の最新情報を随時更新しています

<https://tgu.mext.go.jp/>

SGU構想の概要(立命館大学)

構想の概要

【構想の名称】

グローバル・アジア・コミュニティに貢献する多文化協働人材の育成

【SGUの取組を通じて目指す大学の将来像】

立命館大学は1980年代より大学改革の柱に「国際化」を掲げ、1988年には西日本初となる国際関係学部を創設した。学生の学びのフィールドを世界に広げる多彩な国際的取組を実施し、2009年からのG30採択を受け一層の進展に取り組んできた。

SGU事業を推進するにあたっては、これまでの取組を礎に教育力と研究力の高度化と推進体制の強化を図り「アジアコミュニティに貢献する人材」の育成を行う。本学が目指す将来像は次の2点である。

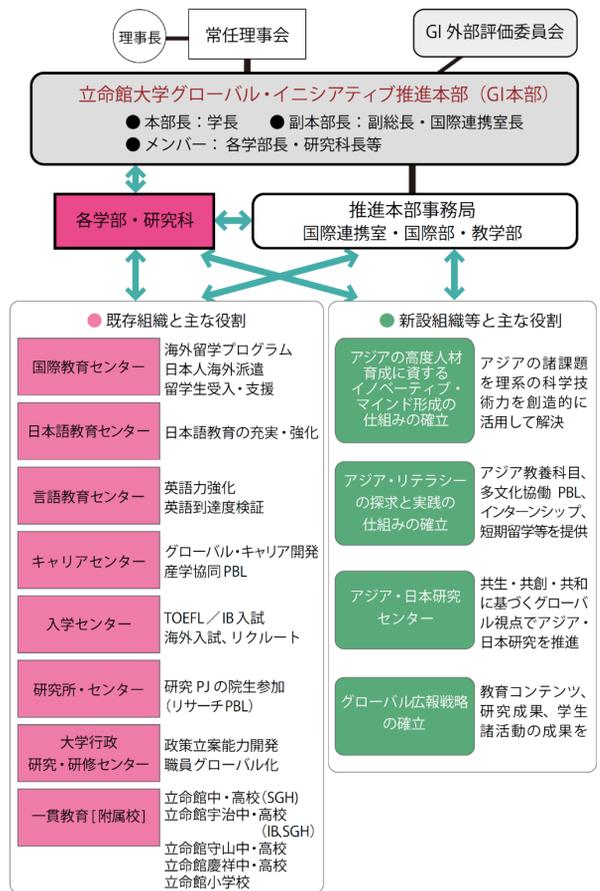
- 1.総合大学の強みを活かしアジアで多分野における連携を深め、平和で持続可能な世界の構築に貢献する人材を育成する
- 2.国際的な教育の質を高め、アジアのリーディング大学として日本の高等教育のグローバル化を牽引する

【構想の概要】

成長著しいアジア地域を主対象とした取組や事業をとおして、学生の学びや世界各国の人々との交流を促進し「アジアと、アジアに位置する日本」への理解を深めるとともに、高い志とチャレンジ精神を持ち多文化協働を通じて持続可能な世界の構築にむけて主体的かつ責任を持って創造的に貢献しうる「グローバル・アジア・コミュニティに貢献する多文化協働人材」を育成する。

アジア地域には世界の総人口の6割近くが生活し、民族の言語・宗教・風俗・習慣・社会制度などは多様性に富んでいる。経済発展が期待される一方で、環境エネルギー問題、食糧、健康、衛生、安全、平和秩序の維持など、国や地域を超えて協力を求められる課題が山積していることも事実である。国家間の矛盾の解決は国際政治に頼るのみではなく、個々人が異なる文化や価値観への理解力を涵養することが重要であり、本構想の取組を通じて本学で学ぶ学生がアジアを含む世界の人々と積極的に関わり、ともに問題を考え解決の筋道を立てる力を育む。

立命館では学園の中長期ビジョン「R2020」を策定し、“Creating a Future Beyond Borders 自分を超越る、未来をつくる”を発信している。大学の国際通用性、開放性、交流性を高め、様々なボーダーを超える機会を創出することによって、未来を拓き国際社会に貢献する。



■ 共通の成果指標と達成目標

国際化関連

1. オーストラリア国立大学とのデュアル・ディグリー・プログラムを核とする「グローバル教養学部」を開設

平成31年4月、オーストラリア国立大学(ANU)とのデュアル・ディグリー・プログラムを核とする、「グローバル教養学部」を開設した。初年度の入学者は、4月入学者23名、9月入学者42名の計65名。両大学共同運営委員会を設置するとともに、ANU から派遣されるプログラム運営責任者が本学に常駐して、日常的な運営上の意思決定に加わっている。



〈開設記念式典(平成31年4月)〉

2. アメリカン大学・立命館大学ジョイント・ディグリー・プログラム1期生がアメリカン大学での学びを開始



〈アメリカン大学におけるオリエンテーションの様子(令和元年8月)〉

令和元年8月、立命館大学国際関係学部ジョイント・ディグリー・プログラム(JDP)の学生が、アメリカン大学(AU、米国・ワシントンD.C.)での学びを開始した。JDPは、本学で学修を開始する学生(RU Home学生)とAU学修を開始する学生(AU Home 学生)が、両大学が連携して設計をしたカリキュラムに基づき、キャンパスを行き来しながら最先端の国際関係学を学ぶプログラムである。平成30年度から始まったJDPには、令和元年度現在、32名が在籍している。

3. 世界トップレベルの大学との研究協力協定の締結



〈オックスフォードとの研究協力覚書の締結(令和元年7月)〉

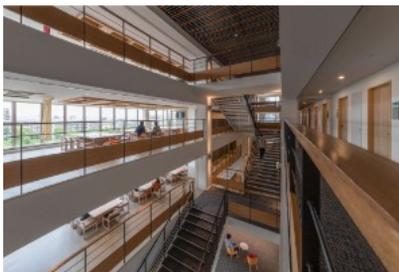


〈カルフォルニア大学バークレー校との研究協力協定の締結(令和2年2月)〉

令和元年7月、地質学及び考古学の一層の発展への寄与を目的に、オックスフォード大学(英国)と研究協力覚書を締結した。また、令和2年2月、デジタル・アーカイブを中心とした研究連携を目的に、カリフォルニア大学バークレー校と研究協力協定を締結した。今後も国際共同研究を積極的に展開し、さらなる研究高度化を目指していく。

4. 新たな国際交流拠点、「立命館大学分林記念館」の開設

令和元年9月、大阪いばらきキャンパス内に、200室の混住型国際寮(OICグローバルハウス)や、国際交流及び日本文化を体験できる施設を兼ね備えた新たな国際交流拠点として、「立命館大学分林記念館」を開設した。生活すべてが学びの場となるよう、随所に日本文化に触れる機能を設け、主体的な学びと交流を促している。



〈立命館大学分林記念館〉

5. 海外拠点の新設(ワシントンD.C.)

令和2年3月、カナダ、英国、インド、中国、ベトナムに続き、6拠点目となる海外事務所「立命館大学ワシントンDC事務所」を開設した。同事務所は、ジョイント・ディグリープログラム等で、アメリカン大学で学ぶ本学の学生への支援を行うとともに、当地における本学のプレゼンスの向上や校友会活動の支援などに取り組んでいる。



〈立命館大学ワシントンDC事務所〉

■ ガバナンス改革

1. 事務職員高度化への取組

(1) 短期派遣プログラムにおける事務職員の引率

令和元年9月、チームごとに研究テーマを設定し、派遣先の都市（バンコク、ハノイ、ホーチミン、プノンペン、シエムリアップ）で約1週間のフィールドワークを行う体験型留学プロジェクト、Global Fieldwork Projectを実施した。同プロジェクトは、事務職員のグローバル力量形成研修としての側面も持ち、すべてのコースに、担当教員と協力をして事務職員が引率者として帯同した。



〈派遣先（バンコク）での様子〉

(2) 海外事務所への事務職員の派遣

海外事務所のうち、カナダ及びベトナムについては、引き続きそれぞれ専任職員1名を派遣した。職員の力量に応じて段階的に異文化に触れる機会を創出することで、職員組織の国際通用性の向上を目指している。

2. 大学評価・IR室の設置

IR機能の強化・充実をはかるため、令和元年度より大学評価室を改組し、「大学評価・IR室」を設置した。9月には、「大学の内部質保証をどう実現するかー認証評価やIRの視点からー」というテーマのシンポジウムを開催し、平成30年度に受審した第三期認証評価の経験を踏まえた内部質保証の到達点について発信するとともに、「国際的通用性を踏まえた大学の内部質保証とIRの役割」をテーマとしたパネルディスカッションを行った。

3. グローバル・イニシアティブ外部評価委員会の開催

令和2年3月、本事業の次期中間評価に向けた、本学の国際化推進に関する評価を受審するために、外部有識者を招いた外部評価委員会を開催した。外部評価委員は産業界から2名、大学関係者2名の計4名に委嘱し、主に前回（平成28年度）からの構想の進捗状況や、本学が作成したロジックモデル、そして補助金終了後を見据えた自走化の計画の、成果や課題等について評価を受審した。「これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される」との総合評価を受けた。



〈外部評価委員会（令和2年3月）〉

■ 大学の特性を踏まえた特徴ある取組

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

学長直轄組織「男女共同参画推進リサーチライフサポート室」を立ち上げ、研究支援員の配置、学内保育所の開設（衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス）、全学部への女性教授の配置、女性無期（テニュア）教員の採用促進、女性研究者による科研費採択件数の増加など、ダイバーシティ環境実現への意識改革を進めた。

その成果もあり、平成28年度に採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の中間評価において、最高評価となる「S評価」を獲得した。

また、これらの取組を、学園規模で進め、各組織を連携させ、進捗を測るための新たな推進体制を構築することを確認した。



〈男女共同参画推進リサーチライフサポート室のウェブサイト〉

■ 自由記述欄

1. 海外留学プログラムのウェブサイトの刷新

海外留学が本学の学生にとって身近な学習の機会として認知されることを目指し、学内における広報を見直し、その一環として、海外留学プログラムを紹介しているウェブサイトを更新した。

短期留学プログラムについては、このウェブサイトからのオンライン出願が可能である。



〈海外留学プログラムのウェブサイト〉

2. 基幹ウェブサイトの充実（幹事大学として）

本事業の基幹ウェブサイトにおいて、採択大学の特徴的な取組を発信するため、「SDGsの取組」及び、「留学体験レポート」のコンテンツを新たに追加した。SDGsの観点での社会的意義の訴求と、学生の視点での留学体験・留学情報の発信に取り組んだ。



大学を指定して表示

すべて表示

〈採択大学によるSDGsの取組ページ（基幹ウェブサイト）〉

学園ビジョンR2030

挑戦をもっと自由に

Challenge **your** mind

Change **our** future